

～世界結核デー記念～

国際結核セミナー

日時：令和7年3月6日(木)
13:30～17:00

台湾における結核対策と今後の日本の結核対策

【特別講演】

台湾における結核対策の現状と課題－外国生まれの結核患者の対策を含め

Dr. Anita Pei-Chun Chan (TB Research Center, Taiwan Centers for Disease Control)

【ワークショップ】

日本国内における外国生まれの結核患者への対策

講演4題（名古屋市中保健センター・墨田区保健所・大阪市保健所・結核研究所）

本年度の国際結核セミナーでは、基調講演として台湾CDC結核研究センター医師の Dr Anita Pei-Chun Chan氏から、台湾における結核対策の現状と課題についてご講演をいただきます。引き続き、後半のワークショップでは、地方自治体や保健所等の立場から、外国生まれの結核患者への公衆衛生学的介入について御議論頂く予定です。

令和6年度

結核対策推進会議

日時：令和7年3月7日(金)
13:30～17:00

結核低まん延化時代の結核対策～過去に学び、時代を見据える～

【講演（質疑）4題】最新の結核対策動向

（厚労省・複十字病院・NHO近畿中央呼吸器センター・結核研究所）

ワークショップ《低まん延化をさらに進めるための対策：諸外国、他疾患の経験から学ぶ》

【講演（質疑）4題】

（世田谷保健所・亀田総合病院・国立ハンセン病研究センター・川口市保健所）

2023年一年間に本邦で登録された結核患者数は10,096人で、結核罹患率は8.1と低まん延を維持しています。今後、日本の結核対策を推進する際、医療機関や保健所は保健・医療の質を確保しながら、結核対策の方向性を示し、どのように展開するかが課題です。

前半は、今後の結核対策強化に関する最新の動向を報告します。

後半のワークショップは、《低まん延化をさらに進めるための対策：諸外国、他疾患の経験から学ぶ》と題し、すでに低まん延に突入り罹患率5を下回っている欧米諸国の結核対策の実践や課題についてご紹介いただき、また過去にまん延していたハンセン病のこれまでの歩みや現状を探ります。さらに、日本で移民を多く抱える自治体からの実践報告などから、今後の日本における結核対策の将来を様々な角度から考える機会としたいと思います。

申込要項

参加・資料代 無料
(世界結核デー記念事業として結核予防会が経費を負担)

対象 保健医療関係者等

定員 500名

申込方法 メールへ直接入力
メール本文に、**申込会議名**と下記を直接ご記入ください。
①所属 ②役職 ③職種 ④氏名 ⑤メールアドレス
***同所属の場合はまとめてお申し込みいただいて構いませんが、
視聴希望者のお名前はお一方ずつご記入ください。**

申込後の流れ・資料
①お申込み
②お申込者へ担当より返信メールが届く
③後日、ID・PW/講義データURLが届く
④クラウド上に講義データを取りに行く

***返信メールは1週間以内にお送りします。
届かない場合は下記までお問い合わせください。
こちらが申込受領メールとなりますので、
当日までお取り置きください。**

申込締切 令和7年2月21日(金)

申込(問合せ)先 結核研究所 対策支援部 国内研修担当
rittraining@jata.or.jp

* 講義データ取得のため、後ほど指定クラウドへアクセスいただきますので、参加者様ご自身で予めご調整ください。メール送付など他取得法のご案内はございません。

* 後日配信の有無は未定です。

お会いできますことを楽しみにしております。
万障お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

